



在マレーシア日本国大使館付属ジョホール日本人学校

# 学校便り Respect



令和4年1月7日

No. 11

令和3年度 3学期 始業式あいさつ

校長 川口 浩

みなさん、明けましておめでとうございます。

1年のしめくくりとなる3学期が始まります。2学期の始業式は、オンラインでしたので、こうやって皆さんと体育館で一緒にスタートできるのは、とても素晴らしいことだと感じます。

さて、お正月といえば皆さんは何を連想しますか。先生が皆さんのころは、まずお年玉だったと思います。親戚へ行ったり、親戚が来たりして、そのたびにお年玉をもらったのを覚えています。(すぐに親に渡しましたが。)

2番目は、お雑煮です。正月の朝、母親から

「お餅を何個食べる？」

と聞かれ、できあがるのを楽しみにしていました。ちなみに、先生の田舎の香川県は、あんこの入った大福でお雑煮を作ります。

3番目は、たこあげです。お正月前になると、町の雑貨屋さんにたこが並び、それを買って冬休みに家の畑のあぜ道であげるのが楽しみでした。日本の井上靖という小説家が、正月に関して書いた随筆にこのような内容が書かれていました。自分の子供たちが、お正月の朝たこをあげに外へ飛び出していったあと、『自分は、家の中でじっとして、たこが揚がるのを見ている。自分は今、あのたこのように空高くまいあがろうと努力しているのだろうか?』

皆さんは、たこあげをしたことはありますか?うまくあがるときと、なかなかあがらない時があります。その違いは、風向きです。風向きには2種類あって、自分に向かって吹いてくる“向かい風”と、自分を後押ししてくれる“追い風”です。さて、たこがよくあがるのはどちらの風でしょうか?正解は、自分に向かって吹いてくる“向かい風”です。向かい風が強いと、前に向かって進むことは大変です。追い風の方が、自分を後押ししてくれる、楽に前に進むことができます。井上靖さんは、なぜ、たこがあがるための向かい風に自分は向かっているのだろうか、と問いかけたのでしょうか?

向かい風は、自分を押し戻そうとする風で、それに向かって進むことは大変だけれども、それに向かうことによって、たこは空高く舞いあがることができる。自分を後押ししてくれる追い風では、たこは空にあがることはできない。人間も同じではないか。自分にとってつらい環境にあえて身を置くことによって、今の自分より1段高い位置に到達することができる。逆に、楽で心地よい状態にいると、いつまでたっても高みに到達することはできないのだ。これが、井上靖さんが自分に問いかけたことではないでしょうか。

では、人間が向かい風に向かうとはどういうことなのでしょう?この場合の風は、自然現象の風ではありません。この場合の向かい風とは、“目標”ということです。“目標”という向かい風に向かって自分自身が前進しているときが、人間として成長しているときなのです。

いま世界中で取り組んでいるSDGsは、『持続可能な開発目標』といいます。この目標に向かって、人類が進むことにより、人類全体がより良い方向に発展するのです。みなさんひとり一人も同じです。1年の初めに、様々な目標を立てると思います。その目標という向かい風に向かって進んでいくとき、皆さんは、たこが空高くあがるように人間として、より高く成長することができるのです。

いよいよ、新しい1年間がスタートします。その1年間のスタートにあたり、まずしっかりと目標を定めましょう。そして、その目標に向かい、自分から風を起こして行ってください!



◎ 保護者の皆様へ

新年あけまして、おめでとうございます。

本年もよろしく願っています。



- 1 3学期スタート時は、2学期の登校再開時とSOPに関しましては、大きな変化はございません。
- 2 3学期より、今まで実施できませんでしたプール授業を再開いたします。ご家庭のご協力を頂く場面がございます。詳しくは、担当からのプリントをご一読ください。
- 3 2学期最後の個人面談では、貴重なお時間を頂戴し、有意義な懇談の機会を持つことができ、心より感謝申し上げます。面談時に、今後の帰国等の状況を確認させていただきました。それ以降、新たに帰国等のご予定が確定した場合は、速やかに学校までご連絡をお願いいたします。

◆ 学校生活の様子



始業式(2022.1.7)



歓迎会(2022.1.7)



書初め①(2022.1.7)



書初め②(2022.1.7)